

シラバス - 起業入門 -

- ▼ [基本情報](#) ▼ [科目概要](#) ▼ [科目目標](#) ▼ [履修前提条件](#) ▼ [関連するバッジ](#) ▼ [授業教材](#)
- ▼ [期末試験実施方法について](#) ▼ [授業時間外の学修と評価について](#) ▼ [評価配分](#)
- ▼ [各回の授業内容\(予定\)](#)

● 基本情報

学部	IT総合学部
科目	起業入門
教員名	馬場 研二
年度 / 学期	2026年度春学期
開講期間	2026/4/3 ～ 2026/8/6
科目履修区分	専門基礎(選択)／専門基礎(必修)／専門基礎科目
単位	2
科目レベル	2

● 科目概要

企業に就職することだけが収入を得る手段としての選択肢ではない。自ら起業家となって、市場ニーズを見出し、必要な資金や人材を集め、新製品や新サービスを顧客へ提供する道もある。起業は成功率の低さにおいてリスクが高いとされているが、必要な知識を体系的に学習し実践することで成功確率を高めることも可能である。本科目では起業に必要な「ビジネスの基本知識」と起業家に求められる「資質・能力」等について事例を交えて系統的に理解し、起業を思い立つ起点、ビジネスアイデアからビジネスプランへの錬成、実際の事業の立ち上げと展開、組織作り、マーケティング、株式とIPOなど、起業に伴う基本的な知識を段階的に習得する。

【科目コード】BA201

● 科目目標

履修目標

- ① 社会環境の変化の中での起業の位置づけを説明できる
- ② 起業家に求められる資質や能力等について、自身の現状と比較して、差異に気づき、身につけるべきことを説明する

ることができる

③自らが起業すると想定した場合の、準備の内容を理由とともにまとめることができる

④自らが起業すると想定した場合に、どのような事業分野で、どのような事業目的を持って事業立ち上げを目指すか一貫性のある説明ができる

⑤事業の立ち上げと展開の方法について説明できる

⑥起業に特有の組織作り、マーケティング、ファイナンス、株式とIPOなどのビジネス知識について説明することができる

到達目標

①社会環境の変化の中での起業の位置づけを説明できる

②起業における目的や準備、必要な資質について自分の考えを分かりやすく述べることができる。

③起業に必要な準備内容を説明できる

④新規事業の構想方法とビジネスプランの作成方法について説明できる

⑤事業の立ち上げと展開の方法について説明できる

⑥起業に伴って必要とされる「ビジネスの基本知識」について説明できる

※授業科目間における成績評価基準の統一化と修得基準の明確化を目的に、科目目標を履修目標と到達目標に分けて設定しています。履修目標と到達目標の定義は以下の通りですが、最低限身につける内容を表す到達目標のみ設定している科目もあります。

履修目標：授業を履修した人が、授業で扱う内容を十分に身につけたことを表す水準です。履修目標を概ね達成すれば、成績はBに相当します。

到達目標：授業を履修した人が最低限身につける内容を表す目標です。履修目標を達成するには、さらなる学修が必要な水準です。到達目標を概ね達成すれば、成績はDに相当します。

[この科目とディプロマポリシーとの対応はこちらのページから確認してください](#)

● 履修前提条件

・企業経営入門（旧：ITビジネス経営論）

の単位を修得済みであること。

また、

・会計簿記入門

・マーケティング入門

の単位を修得していることが望ましい。

なし

※この科目は、実務経験のある教員による授業科目です。教員の経歴や補足説明は以下の通りです：

企業の経営企画部門に所属し、経営戦略策定や新規事業推進などに15年間携わった実績を持つ。また、個人で経営コンサルティング会社を運営し顧問先企業を指導してきた、企業経営に関する実務経験を講義に活かしている。

● 関連するバッジ

起業

● 授業教材

教科書 ※購入必須

なし

ツール

なし

※[大学の定める必要環境](#)はご用意ください。

参考資料 ※購入任意

題名	著者	出版社	発行年	備考
ユニクロ監査役が書いた伸びる会社をつくる起業の教科書	安本隆晴	ダイヤモンド社	2013.9	1,500円(税別)
未来をつくる起業家 ～日本発スタートアップの失敗と成功 20ストーリー～	ケイシー ウォール (Casey Wahl)	クロスメディアパブリッシング	2015.3	2,180円(税別)

その他の資料

なし

● 期末試験実施方法について

Webテスト形式

● 授業時間外の学修と評価について

生成AIを使った「ビジネスモデルキャンバス」と「事業計画書エグゼクティブサマリー」の作成を、第12回に、成績に反映しない「自由課題」として、希望する受講生に取り組んでももらいます。

後継科目の「事業創造詳論」で「事業計画書エグゼクティブサマリー」の作成方法について詳しく講義しますので、予習のつもりで興味を持って取り組んでみてください。

■各回の授業に臨むにあたり、次回の学習資料から分からない専門用語の意味を学内外の電子辞書サービス等を活用して調べるなどして、2時間程度の予習を行いましょう。

■各回の小テストを受験する前に、授業動画を繰り返し視聴したり、学習資料や学内で利用できる電子書籍や、その他の参考書などを自習したりして、2時間程度の復習を欠かさないようにしましょう。

■受講後の発展的学習として、シラバスや授業内で紹介する参考図書や関連情報のサイトを熟読してください。

【オフィスアワーについて】

本学は通信制のためZoomで対応します。事前にURLを連絡しますので、希望する方は「学生サポートページ」のオフィスアワーフォームからお知らせください。

金曜 17:00～18:00

この時間以外でも対応いたしますのでご連絡ください。

● 評価配分

ディベート	レポート	小テスト	期末試験	その他	合計
5 %	10 %	45 %	40 %	0 %	100 %

● 各回の授業内容

回	授業内容および目次	小テスト他	備考(教科書、参考資料等)
---	-----------	-------	---------------

第1回	<p>1)タイトル: オリエンテーション</p> <p>2)学習目標: 本講義の概要について理解すると共に、起業家と時代背景について踏まえた上で、成功する起業家・社長になる心構えを学び説明できる。</p> <p>3)目次: 第1章 本講義の概要 第2章 時代背景と起業家 第3章 社長になる心構え 第4章 成功した起業家に学ぶ</p>	・小テスト	
第2回	<p>1)タイトル: 起業を考える</p> <p>2)学習目標: 起業するということの意味に立ち返り、本当に起業が必要か考えてみる。また、起業のポイントと起業の失敗原因について理解し説明できる。</p> <p>3)目次: 第1章 起業するということ 第2章 本当に起業が必要か考える 第3章 起業のポイント 第4章 起業の失敗原因</p>	・小テスト	
第3回	<p>1)タイトル: 起業家の行動</p> <p>2)学習目標: 起業家の仕事の仕方について理解し、起業後の成功をめざす行動方法について説明できる。 また、成功する経営者の共通項を整理して、起業家に求められる能力を理解し説明できる。</p> <p>3)目次: 第1章 起業家の仕事の仕方 第2章 起業後の成功をめざす 第3章 起業家に求められる能力 第4章 成功する経営者の共通項</p>	・ディベート	<p>ディベート課題: 起業における目的や準備、必要な資質について、受講開始時点での自分の考えを分かりやすく述べてください。</p> <p>①自分が起業するとしたら、どのような目的で新規事業を立ち上げますか？</p> <p>②自分が起業しようとしたら、どのような準備が必要になると思いますか？</p> <p>③自分が起業家になるとしたら、どのような資質や能力等が必要だと思いますか？</p>
第4回	<p>1)タイトル: 起業の準備1</p> <p>2)学習目標: 起業のアイデアを考え、ビジネスモデルを作り、ビジネスプランを策定する方法について理解し説明できる。</p> <p>3)目次: 第1章 起業のアイデアを考える1 第2章 起業のアイデアを考える2 第3章 ビジネスモデルを考える</p>	・小テスト	

	第4章 ビジネスプランを立てる		
第5回	<p>1)タイトル: 起業の準備2</p> <p>2)学習目標: 起業前に行うこと、参入する業界と会社設立について、および起業直前の準備について理解し説明できる。</p> <p>3)目次: 第1章 起業前に行うこと 第2章 参入する業界の研究と会社設立 第3章 起業直前の準備 第4章 第1部のまとめ</p>	・小テスト	
第6回	<p>1)タイトル: 新規事業の構想</p> <p>2)学習目標: 新規事業を構想する際に、事業領域を決め、魅力的なテーマで起業するためのアイデアの評価方法について理解し説明できる。 また、プレゼンテーションの重要性について理解し説明できる。</p> <p>3)目次: 第1章 事業領域の決定 第2章 魅力的な起業テーマの利点 第3章 アイデアの評価方法 第4章 プレゼンテーション</p>	・小テスト	
第7回	<p>1)タイトル: ビジネスプランの作成1</p> <p>2)学習目標: 事業計画書を作成する前に、事業内容を検討することについて理解し説明できる。</p> <p>3)目次: 第1章 新規事業で検討すべきポイント 第2章 新事業の3タイプ 第3章 ビジョンの描き方 第4章 エグゼクティブサマリー</p>	・小テスト	
第8回	<p>1)タイトル: ビジネスプランの作成2</p> <p>2)学習目標: 事業計画書の具体的な作成方法について理解し説明できる。</p> <p>3)目次: 第1章 事業計画書の作成方法 第2章 ビジネスプランの構成 第3章 事業計画書作成の留意点 第4章 事業計画書に多く見られる問題点</p>	・小テスト	
第9回	<p>1)タイトル: 事業の立上げと展開</p>	・レポート	以下の3つの設問に対して、所定のワードファイルに記載して、レポート

	<p>2)学習目標： 事業を立上げて展開していく中での、事業立ち上げの 手順と成長段階毎の課題について理解する。また、市 場規模の推定方法について理解する。</p> <p>3)目次： 第1章 事業立ち上げの手順 第2章 成長段階毎の課題 第3章 市場規模の推定 第4章 第2部のまとめ</p>		<p>を提出する。</p> <p>①この講義で学んだ起 業家に求められる資質 や能力等と比べて、自 分にあるものとないの を、それぞれ二つ以上、 合わせて200文字程度 で書いてください。</p> <p>②自分が起業すると想 定した場合に、どのよ うな準備を行っていく必 要があるかを、3つ以上 (できるだけ多く)を合 わせて200文字程度で書 いてください。</p> <p>③自分が起業する場 合は、どのような事業分 野で、どのような事業目 的を持って、事業立ち上 げを目指すかを、200文字 程度で書いてください。</p>
第10回	<p>1)タイトル： 組織作り1</p> <p>2)学習目標： 新規事業に取り組む組織におけるチーム作りとリーダ ーの役割や、組織図の作り方について理解する。</p> <p>3)目次： 第1章 組織体制と行動規範 第2章 チーム型組織 第3章 マネジメントチームとリーダー 第4章 組織図</p>	・小テスト	
第11回	<p>1)タイトル： 組織作り2</p> <p>2)学習目標： 組織作り際に際しての社長の役割、採用と人材育成につ いて理解する。また、社外の専門家からの支援の受け 方について理解する。</p> <p>3)目次： 第1章 社長の役割 第2章 人材獲得のポイント 第3章 採用と人材育成 第4章 専門家からの支援</p>	・小テスト	
第12回	<p>1)タイトル： マーケティング</p> <p>2)学習目標： 新規事業におけるマーケティングについて理解する。</p> <p>3)目次： 第1章 起業におけるマーケティング 第2章 マーケティング戦略の策定プロセス 第3章 顧客セグメンテーション</p>	・小テスト	<p>生成AIを使った「ビジネス モデルキャンバス」と 「事業計画書エグゼクテ ィブサマリー」の作成を、 成績に反映しない「自由 課題」として希望する受 講生に取り組んでもらい ます。</p>

	第4章 バリューチェーン		
第13回	<p>1)タイトル: ファイナンス</p> <p>2)学習目標: 新規事業におけるファイナンスについて理解する。</p> <p>3)目次: 第1章 企業会計の仕組み 第2章 予測キャッシュフロー 第3章 企業価値とNPV 第4章 投資とリターン</p>	・小テスト	
第14回	<p>1)タイトル: 株式とIPO</p> <p>2)学習目標: 新規事業における株式とIPOについて理解する。</p> <p>3)目次: 第1章 株式・IPOとは何か 第2章 IPOのメリットデメリット 第3章 日本のベンチャーキャピタルの特徴 第4章 日本のVCの支援機能</p>	・小テスト	
第15回	<p>1)タイトル: 全体のまとめ</p> <p>2)学習目標: 第1部「起業を考えるポイント」、第2部「事業プランの作成」、第3部「起業に関する各論」のそれぞれについて振り返る。</p> <p>3)目次: 第1章 起業を考えるポイント 第2章 事業プランの作成 第3章 起業に関する各論 第4章 まとめ</p>	・小テスト	